平成29年度事業報告書

事務局経営戦略課

１　複数館を利用した公益目的事業の推進

（１）１日子ども館長の実施

子どもたちが「１日子ども館長」として各施設の職場体験をすることで、科学・自然・歴史・文化に興味関心をもち、将来の職業選択のきっかけづくりとすることを目的に、当協会が管理運営する各施設において、科学・歴史・芸術文化分野の体験活動を実施した。

実施回数　　４回　　参加者数　２２人

（２）子どものための音楽会の開催

様々なジャンルの生の演奏に触れることで、乳幼児の情操を育むための演奏会を、複数の施設を管理運営する利点を生かし、年間を通して各施設において開催した。

実施回数　　６回　　参加者数　延べ　９２８人

２　広報活動の強化

（１）協会機関誌「まなぶんか」の発行

単なるイベントの紹介だけでなく、イベントの背景や見どころ、また科学や歴史・文化に関するタイムリーな話題等を、利用者に詳しく紹介する協会機関誌を年４回発刊し、宮崎科学技術館友の会、県内の教育委員会・小学校・中学校・各支援学校・幼稚園・保育所・博物館等施設、１市２町（宮崎市・綾町・国富町）の宮崎銀行各支店・小児科医院、入館者等に配布した。

Ａ４版８ページ、カラー印刷、季刊で各６，０００部（年４回）

３　地域への貢献

（１）出前授業等の実施

各施設が、地域における教育文化施設として認識され、地域とのつながりや地域活性化に貢献することを目的に、学校や地域団体に対してアウトリーチ活動を実施した。

実施プログラム数　７プログラム

実施小中学校数　３７校　　実施団体数　２４団体　　延べ３，６２２人

（２）公益財団法人宮崎文化振興協会モニターによるモニタリング

地域住民の意見を協会の事業に反映させるため、１市２町（宮崎市・綾町・国富町）の在住者を対象にモニターを公募し、アンケート協力や協会への提言等、協会の施設運営への意見をいただいた。１０月と３月に意見交換会を実施し、各施設の改善点等を報告した。

意見交換会　２回　　モニター人数　２０人

４　人材の育成

（１）各種研修の実施

職員の資質向上のため、年間研修計画に基づき、研修を実施した。

全職員研修、接遇研修、特別研修（人権・男女共同参画推進研修）などを実施した。

研修回数　２７回　　職員参加者数　　延べ　２６８人

（２）研究事業の実施

職員の職務能力の向上のため、指定管理者の業務達成に貢献できると認められる研究について、職員にその費用の一部又は全部を補助する研究事業を実施した。

また、平成３０年２月１５日（木）に研究事業成果発表会を開催し、応募研究の中から優秀研究を選出し、平成３０年２月２２日（木）に研究事業表彰式を実施した。

研究本数　９本　　研究者数　　延べ　１３人

宮崎科学技術館

１　管理運営事業

平成２９年度から３か年の指定管理を受け、平成２９年度においても展示室、パソコン研修及びプラネタリウム事業等の円滑な運営を行うための保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

（１）利 用 状 況

開　館　日　数	300 日		プラネタリウム投映日数	297 日
入　館　者　数	173,944 人		利　用　者　数	71,868 人
１日平均入場者数	580 人		１日平均利用者数	242 人

※台風による臨時休館　３日間

（２）利 用 内 訳

①　入館者数（小人・大人）内訳

小　人	88,347 人	（50.8%）
大　人	85,597 人	（49.2%）
合　計	173,944 人	

②　入館者数（個人・団体）内訳

個　人	150,046 人	（86.3%）
団　体	23,898 人	（13.7%）
合　計	173,944 人	

③　県内教育利用内訳

・広域圏内

幼稚園・保育所	7,001 人	（48.2%）
小学校	5,554 人	（38.2%）
中学校	459 人	（ 3.2%）
高等学校	125 人	（ 0.9%）
一般（参考）	1,389 人	（ 9.5%）
合　計	14,528 人	

・広域圏外

幼稚園・保育所	1,339 人	（16.3%）
小学校	5,069 人	（61.6%）
中学校	308 人	（ 3.7%）
高等学校	21 人	（ 0.3%）
一般（参考）	1,497 人	（18.2%）
合　計	8,234 人	

④　県外団体利用内訳

幼稚園・保育所	249 人（21.9%）
小学校	234 人（20.6%）
中学校	0 人（　0%）
一般（参考）	653 人（57.5%）
合　計	1,136 人

⑤　県外地方別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
九州・沖縄	26	1,114	98.1
四国	0	0	0.0
中国	0	0	0.0
関西	0	0	0.0
中部	0	0	0.0
関東	0	0	0.0
東北	0	0	0.0
北海道	0	0	0.0
台湾	1	22	1.9
合計	27	1,136	100.0

⑥　九州内県別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
福岡	1	27	2.4
佐賀	0	0	0.0
長崎	1	26	2.3
熊本	4	143	12.9
大分	1	28	2.5
鹿児島	16	744	66.8
沖縄	3	146	13.1
合計	26	1,114	100.0

２　常設展示事業

アポロ１１号月面着陸船原寸大模型をはじめとした大型の展示物のほか、先端科学技術を集約した展示物は約 100 点にのぼる。来館者が体験を通して科学の不思議や自然の素晴らしさに気づくことに努め、科学に対する興味・関心を深めさせることができた。

特に、経年劣化が見られる展示物については、コストを抑えつつ修繕を行うなど、最大限の維持と活用に努めた。

３　教室事業

（１）科学実験・工作教室

子どもたちの「科学の芽」を育てるためのサイエンス教室や、高齢者と一般の人を対象にした「生きがい科学館」、子どもから大人まで楽しめるサイエンスショーや工作教室などを、ＪＳＣや宮崎大学のボランティア学生とともに実施した。

①　チャレンジサイエンス	実施回数	３０回	参加者数　延べ	６，７０６人
②　ダ・ヴィンチ工房	実施回数	６回	参加者数　延べ	８０人
③　生きがい科学館	実施回数	８回	参加者数　延べ	１２１人
④　不思議なサイエンスショー	実施回数	１０回	参加者数　延べ	９１５人
⑤　宮崎少年少女発明クラブ	実施回数	２０回	参加者数　延べ	６３９人
⑥　ロボットクラブ	実施回数	１０回	参加者数　延べ	３５４人
⑦　どろだんご教室	実施回数	２回	参加者数　延べ	１３２人
⑧　科学技術週間工作教室	実施回数	２回	参加者数　延べ	１１８人
⑨　自由研究サポート教室	実施回数	２回	参加者数　延べ	２人

⑩	なんでもサイエンス(ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ)	実施回数	１９回	参加者数　延べ	１，７４９人
⑪	コスモランド教室	実施回数	１２回	参加者数　延べ	２，３４９人
⑫	サイエンス親子学習教室	実施回数	１２回	参加者数　延べ	６５人
⑬	電波親子学習教室	実施回数	１回	参加者数　延べ	６３人

（２）パソコン講座

子ども達がパソコンに対する興味・関心を高めることを目的とした講座と、宮崎科学技術館の友の会の会員を対象としたパソコンの基礎的技能を身に付ける講座を実施した。

①	すいすいパソコン	実施回数	１２回	参加者数　延べ	７４０人
②	パソコン入門講座	実施回数	１０回	参加者数　延べ	１０３人
③	友の会パソコン講座	実施回数	６回	参加者数　延べ	７４人

（３）プラネタリウム親子学習教室

学校での天文学習の補充と深化を目的に、小学４年生及び６年生、中学生向けの学習プログラムを行った。大変多くの応募があり、事後の感想も好評であった。夏休みの自由研究の題材として月の記録方法なども解説をした。

実施回数	小学４年生対象	２回	参加者数　延べ	４３７人
	小学６年生対象	２回	参加者数　延べ	２０５人
	中学生対象	１回	参加者数　延べ	６９人

４　プラネタリウム事業

九州最大級である直径２７ｍのプラネタリウムに３万８千個の星々を映し出す恒星投映機や全天ビデオ投映システムを生かし、一般番組や学習番組の投映を行った。

入場者数　　６４，２４１人（※通常投映番組のみの観覧者）
投映回数　　９８４回

（１）一般番組

・永久投映権をもっている番組
「星になったチロ」「オズのまほうつかい」「むしむし星空大行進」
「今夜銀河の片隅で」「DARK」「Back To The Moon」

・２８年度から引き続き投映した番組
「紙兎ロペ」「妖怪ウォッチ」「鷹の爪」「宇宙兄弟」「ノーマン・ザ・スノーマン」
「ナットのスペースアドベンチャー」「ポケットモンスターXY」

・２９年度から投映した新番組
「ドラえもん宇宙大探検３」「ちびまる子ちゃん」「こぐま座のティオ」

（２）学習番組

「ピーターパンとほしのくにへいこう」（幼児向け）
「スタジオ４４４」（小学４年生向け）「ポワンとフーニャンの宇宙調査隊」（小学６年生向け）
「この空に願いを込めて…」（中学生向け）

（３）自主製作番組

「ひむか神話～太陽の女神・アマテラス」

（４）星空教室

プラネタリウムホールを利用して、幼児から一般を対象に、季節の星座や神話、天文の基礎を紹介し、天体や宇宙の基礎的な認識を深めるとともに、興味・関心をもってもらうよう努めた。

実施回数　　１１回　　参加者数　延べ　　６８０人

（５）中秋の名月大観望会

宮崎科学技術館に隣接する中央公園広場で星空の観望会を実施した。多くの親子連れを中心とした参加者があった。当日は曇天であったため、時折雲間から垣間見た月を観望していただいた。月が見えない時間帯は、多目的ホールで開催中の名月展を閲覧していただいた。

参加者数　　１５０人

（６）おはよう月の観望会

夏休み期間中に、午前中に見える日中の月を望遠鏡で観望した。日中の青空の中に見える白い月に、子ども達が驚く様子が見られた。３日間の計画であったが天候の関係で、十分に月の姿が観望できたのは、１日のみだった。

実施回数　　３回　　参加者数　延べ　　１２７人

（７）スターウォッチング教室

宮崎市、綾町、国富町の団体を対象に、応募団体の希望の会場に出向き、天体の基礎的な学習と天体観察を行った。望遠鏡などを用いた体験から、天文や宇宙に興味・関心をもっていただくように努めた。５回を計画したが、実施団体の都合で１回がキャンセルとなった。

実施回数　　４回　　参加者数　延べ　　３４２人

（８）スターウォッチング教室ｉｎまちなか

中心市街地の活性化及び広報の場として、市街地（橘通３丁目交差点　ＭＲＴテラススタジオ前広場）や天ケ城公園（高岡町）で観望会を実施した。多くの市民や高校生が月や星の輝きの美しさを堪能でき、天文へ興味をもっていただいた。

実施回数　　３回　　参加者数　延べ１、０５０人

（９）キッズアワー

幼児向けのプラネタリウムとして、通常暗いプラネタリウムを明るくし、子どもが楽しめる内容の星や星座の話と、幼児向けの番組の投映を行った。

実施回数　　６回　　参加者数　延べ１，２５０人

（１０）特別投映

神武大祭に合わせて、特別投映を行った。当館の自主制作番組「ひむか神話～太陽の女神・アマテラス」を投映し、合わせて天文と日向神話の親和性について職員が準備した映像等で解説を行った。また、アメリカで観測された皆既日食の映像も付加したことで、参加者の関心を高めることができた。

開催期日　　平成２９年１０月２８日（土）

入場者数　　子ども　２０人、大人５７人　　計　７７人

５　文化振興事業

（１）星空と音楽の夕べ

宮崎出身者や現在宮崎で活躍している音楽家の活動の場を提供するとともに、市民文化活動高揚に資するため、プラネタリウムホールで開催した。音楽の生演奏と星の解説、そしてＣＤ音楽の解説という３部構成でのコンサートを実施した。

実施回数　　２回　　参加者数　延べ　　４０８人

（２）キラキラ星空コンサート

「星空と音楽の夕べ」より気軽に楽しんでもらおうと、平成１８年度からスタートしたコンサートであり、県内で活躍されている演奏家によるコンサートを実施し、幼児から高齢者までの幅広い年齢層の人に楽しんでもらった。

実施回数　　２回　　参加者数　延べ　　４９７人

（３）星空さんぽ in プラネタリウム

多くの市民がプラネタリウムをさらに利用しやすくするために、閉館後の時間帯に、星空の生解説を含め、魅力的なテーマを設定した投映を行った。職員でテーマに合わせた映像や参加型の企画を準備し、来館者が、より星空に親しめる内容にした。更に、希望者には屋外で星空観望会も実施した。

実施回数　　４回　　参加者数　延べ　　６５０人

（４）スターフェスティバル

多目的ホールを利用して、来館者を対象に、「宇宙から見た地球、そして未知への探査」をテーマに気象衛星や惑星探査衛星の紹介パネルの展示や解説映像の上映、映像コンテンツの体験コーナー、県内の天文台や天文愛好家の撮影した写真の展示を行った。天体や宇宙の基礎的な認識を深めるとともに、興味・関心をもってもらえるよう努めた。また、ワークショップなどを行い、宇宙への興味・関心を高めてもらう良いきっかけとなった。

実施回数　１回（２６日間）　　参加者数　延べ　９，９２５人

（５）えほんの読み聞かせ in プラネタリウム

プラネタリウムホールの有効活用と子ども達の情操教育を目的として、幼児から一般を対象に、絵本の読み聞かせを毎月、実施した。ドームシアターを利用して、絵本を大きく投映し、動画等の映像による演出をすることで、プラネタリウムホールを幅広く体感してもらうように努めた。

実施回数　１２回　　参加者数　延べ　１，２３３人

（６）キッズ・プラネタリウム

子育て世代のプラネタリウム利用と、子育て支援を目的として、通常暗いプラネタリウムを明るくし、子どもが楽しめる内容で星や星座の紹介を行った。

実施回数　６回　　参加者数　延べ　　１，００３人

６　イベント事業

（１）主催事業

①　開館３０周年記念事業（新規事業）

年間を通して開館３０周年を記念した事業を展開した。テーマを「宇宙への１歩！太陽の国・

宮崎から！」とし、近い将来に宮崎から宇宙飛行士や宇宙開発等の研究に携わる人材を育成することを目的とした事業を展開した。

・　企画展「アポロ展」

アポロ計画で持ち帰られた「月の石」や米ソの宇宙開発競争、最新の宇宙探査や技術について、パネルや模型、映像等を使って展示をした。また期間中、職員等による展示ガイドツアーや、ロケットの打ち上げ時の音響体験を実施し、内容の充実に努めた。

開催期日　　平成２９年４月２９日（土）～５月２８日（日）
入場者数　　延べ　１１，０５３人

・　大西宇宙飛行士講演会

ホテルニューウェルシティ宮崎を会場に、国際宇宙ステーションに滞在したＪＡＸＡ大西卓哉宇宙飛行士に、宇宙での貴重な体験や今後の宇宙活動について講演をしていただいた。大西宇宙飛行士の分かりやすい説明や魅力ある映像の提示で充実した内容になった。多くの質問が参加者から寄せられ、盛会となった。また、講演会の前に宮崎市の主催で記念式典を実施した。

開催期日　　平成２９年７月２９日（土）
入場者数　　子ども　２８０人、大人　４３２人　　計　７１２人

・　第５８回科学技術映像祭入選作品上映会

日本科学技術振興財団等の主催による科学技術映像祭の入選５作品を上映した。質の高い映像から科学技術への関心が喚起され、その普及について啓発することができた。

開催期日　　平成２９年７月２２日（土）～９月３日（日）
入場者数　　延べ　３０，５１９人

・　ワークショップ「バルーンローバーを作ろう！」

日本宇宙少年団から講師を招き、火星探査をテーマにした講演とバルーンローバーの工作及び試走を行った。宇宙開発への関心を高め、その意義や重要性について実感することができた。

開催期日　　平成２９年１０月８日（日）
入場者数　　子ども　６５人、大人　７９人　　計　１４４人

・　巡回展「オーロラ　宇宙からの手紙」

全国科学館連携協議会が提供する巡回展を実施した。多数のオーロラの写真の展示や、国際宇宙ステーションから撮影されたオーロラの映像を上映することで、太陽から降り注ぐプラズマと地球の磁場や大気による神秘的な自然現象に、多くの市民が興味をもつことができた。

開催期日　　平成２９年１２月１９日（火）～平成３０年１月７日（日）
入場者数　　延べ　１，３７９人

・　巡回展「地球から宇宙へ」

全国科学館連携協議会が提供する巡回展を実施した。最新鋭の望遠鏡や天体写真家が撮影した多数の天体写真の展示や、月周回衛星「かぐや」が撮影した月面映像の上映、風船で宇宙を撮影する取り組みの紹介などを行った。宇宙の魅力や神秘さを多くの市民に伝え、子ども達が宇宙へ

の夢を感じることができた。

開催期日　　平成３０年２月３日（土）～２月２５日（日）

入場者数　　延べ　２，３２８人

・　子ども向け講演会「“やってみる”から始めよう！」

風船を使った宇宙撮影を手掛けている岩谷技研代表の岩谷圭介氏を講師に招き、挑戦することやあきらめないことをテーマにした講演を実施した。多くの子どもたちに夢へチャレンジすることの意義を伝えることができた。

開催期日　　平成３０年２月２４日（土）

入場者数　　子ども　４７人、大人　５０人　　計　９７人

・　ワークショップ「宇宙パラシュートづくり」

岩谷技研代表の岩谷圭介氏を講師に招き、風船を使った宇宙撮影でカメラ回収時に使用するパラシュートづくりを行った。パラシュートの製作の過程で、子ども達がそれぞれに工夫を行い、飛行テストから改良を加え、より良いものに仕上げていこうとする姿が見られた。子ども達に挑戦することや、工夫することの意義を伝えることができた。

開催期日　　平成３０年２月２５日（日）

入場者数　　子ども　６５人、大人　４４人　　計　１０９人

・　巡回展「太陽のふしぎ」

全国科学館連携協議会が提供する巡回展を実施した。最新の太陽研究の成果や未だ解明されていない事項などを記載した解説パネルの展示を行った。また、国立天文台の協力で太陽観測衛星「ひので」の撮影映像や紹介映像を上映した。太陽の活動が私たちの生活に大きく影響していることを多くの市民に伝え、子ども達が宇宙への夢を感じることができた。期間中は特殊な望遠鏡を使った太陽観測や日時計づくりのワークショップを行った。

開催期日　　巡回展　平成３０年３月４日（日）～３月２５日（日）

太陽観測会　平成３０年３月１１日（日）、３月１８日（日）

ワークショップ「日時計づくり」平成３０年３月２１日（水・祝）

入場者数　　延べ　２，６４１人

②こいのぼり掲揚式

近隣の幼稚園・保育所を招き、正面玄関前でこいのぼり泳がせ式を行った。また、招待した園児には手作りのこいのぼりをプレゼントした。

開催期日　　平成２９年４月１４日（金）

入場者数　　子ども　７２人、大人　２８人　　計　１００人

③「科学と遊ぼう！こどもの日」

全館を無料開放し、こどもの日にちなんだ多彩な催しを実施した。

開催期日　　平成２９年５月５日（金・祝）

入場者数　　延べ　５，１８２人

④地球を守ろう環境展（第８回）

地球環境問題や宇宙開発などについての興味・関心を高めてもらうために、「宇宙デブリ」をテーマにパネルを作成し、展示した。ＪＡＸＡからの伝導性テザーの実物や映像の提供、みやざきエコの会及び当館職員によるワークショップ行うことで充実した内容になった。

開催期日　　企画展　平成２９年６月３日（土）～６月２５日（日）
　　ワークショップ　平成２９年６月１０日（土）、６月２４日（土）
入場者数　　子ども １，７２１人、大人 １，９５２人　　延べ　３，６７３人

⑤南極の氷贈呈式＆サイエンスショーおよび関連パネル展

南極にまつわるパネル展示や、極地研究所から講師を招き、南極の講話及び氷贈呈式を行った。また、当館の職員による南極の氷を使った実験ショーを実施した。

開催期日　　パネル展　　平成２９年７月１日（土）～７月２１日（金）
　　贈呈式　　平成２９年７月９日（日）
入場者数　　子ども１，９０７人、大人２，３３３人　　延べ　４，２４０人

⑥命の科学フェア

「なるほど！なっとく！人体の科学ゾーン」と「なるほど！なっとく！防災の科学ゾーン」の２つのエリアで心臓マッサージ体験や心電図検査などと、防災グッズ工作や起震車の体験など体験を通した学習を計画した。命について科学の目で考える機会となった。

開催期日　　平成２９年　７月２３日（日）
入場者数　　子ども　　５６０人、大人　　４８４人　　計　１,０４４人

⑦青少年のための科学の祭典２０１７・宮崎大会

小中学校・高校の理科教諭、大学関係者と連携し、科学や科学技術の不思議さや楽しさを身近に体験できる実験ブースの出展をし、科学の面白さを実感してもらうとともに、科学および科学技術に対する関心を高める活動を実施した。

開催期日　　平成２９年７月２８日（金）～　３０日（日）
入場者数　　延べ　６，４０９人

⑧「感謝の集い　開館記念日」

開館３０周年の開館記念日を祝い全館を無料開放し、市民にともに祝っていただくとともに工作教室など館内を楽しんでいただいた。

開催期日　　平成２９年８月２日（水）
入場者数　　延べ　２，３６５人

⑨ＷＲＯ　Ｊａｐａｎ　２０１７宮崎大会

子どもたちが市販のキットで自律型ロボットを製作し、そのロボットを使って競技会を実施した。ロボットを制御するコンピュータのプログラムも子どもたちに開発させた。地方大会として小・中・高の３部門を実施し、それぞれの部門の代表チームが国内決勝大会（東京）に出場した。

開催期日　　平成２９年８月４日（金）
入場者数　　子ども　　１５６人　大人　　２４４人　　計　４００人

⑩教員のための博物館の日

教職員や大学の教育学部生、博物館関係者を対象に博学連携を目的としたワークショップを県立総合博物館で行った。

開催期日　　平成２９年８月４日（金）

参加者数　　教職員３４人、保育士１人　　計　３５人

⑪ＪＳＣフェスティバル＆科学技術館シルバーdays

敬老の日にちなみ、６５歳以上の方と同行された家族を対象に、全館無料開放を実施した。台風接近の為、１８日のみの実施となった。

開催期日　　平成２９年９月１６日（土）～１８日（月・祝）

入場者数　　子ども ２２０人、大人 ２５１人　　延べ　４７１人

⑫子どものための音楽会（事務局経営戦略課事業）

協会が管理運営する６施設において、乳幼児とその保護者が気軽に参加できる演奏会を、地元アーティスト等による生演奏により開催した。各施設の文化・教育機関としての価値を高め、利用促進の機会とした。

開催期日　　平成２９年　９月２１日（木）

内　　容　　スイートクローバーによるフルートとピアノの演奏会

参加者数　　子ども　６３人、大人　７３人　　計　１３６人

⑬名月展

中秋の名月に合わせて、月の姿の魅力や、最新の観測で解明しつつある月の話題について、写真やパネルを使って展示をした。すでに実施した企画展等のパネルや、映像を活用し、月の話題に特化した企画展が実施できた。また、多目的ホールの有効活用の方策の一つとなった。

開催期日　　平成２９年９月２８日（木）～　１０月４日（水）

入場者数　　子ども　３８６人、大人　２６７人　　延べ　６５３人

⑭ナイトミュージアム

ハロウィンに合わせて、館内を夜間開館して実施した。参加者には「宇宙飛行士になって隕石が衝突しそうな月を救おう！」を題材に、様々な訓練と称する体験を通して楽しんでいただいた。体験には、科学の現象や館内の展示物、プラネタリウムの映像を活用した。

開催期日　　平成２９年１０月２８日（土）、２９日（日）

入場者数　　延べ　　３３６人

⑮第２４回宇宙画作品展

児童・生徒の創造性の育成を図り、宇宙及び宇宙開発に関する興味・関心を高めるため、宇宙をテーマにした絵画作品を展示した。小・中学生から２，７２０点の応募があり、内４２名の入賞者を対象に、表彰式を実施した。また、表彰式後に国立天文台広報室長の山岡均教授による講演会を実施した。

開催期日　　平成２９年１１月２９日（水）～１２月１７日（日）
表彰式及び講演会　平成２９年１２月１０日（日）
入場者数　　子ども ４９５人、大人 ７２５人　　延べ　１，２２０人

⑯サイエンスカフェ（サイエンストーク）

各種イベントと関連のある科学者を招き、その開催時期に合わせて、サイエンスカフェを実施した。科学者と市民を結ぶ仲介役としての科学技術館の活動であり、科学の普及・啓発に努めた。今年度は、巡回展「太陽のふしぎ」に関連して、国立天文台より萩野正興氏を招き、子どもたち向けにサイエンストークを実施した。

開催期日　　平成３０年３月４日（日）
内　　容　　太陽のふしぎを大たんけん！
会　　場　　宮崎科学技術館　多目的ホール
講　　師　　国立天文台　萩野正興氏
参加者数　　子ども　　２９人、大人　２６人　　延べ　　５５人

⑰パブリックビューイング・ロケット打ち上げ観望会

JAXA 種子島宇宙センターから打ち上げられる衛星や補給船、ロシアから打ち上げられるソユーズ宇宙船など、打ち上げや宇宙飛行士の活動を実況するインターネットの視聴および、実際の打ち上げの噴気雲の観望会を行った。特に今年度は、金井宇宙飛行士の活動の実況などのパブリックビューイングや観望会が実施できた。

開催期日　①平成２９年　６月　１日（木）
　②平成２９年　８月１９日（土）
　③平成２９年１２月１７日（日）
内　　容　①H-ⅡＡロケット３４号機打ち上げ観察会
　②H-ⅡＡロケット３５号機打ち上げ観察会
　③金井宇宙飛行士打ち上げパブリックビューイング
参加者数　①子ども　　８人、大人　３９人　　延べ　　４７人
　②子ども　　２０人、大人　２０人　　延べ　　４０人
　③子ども　　２３人、大人　３２人　　延べ　　５５人

⑱アウトリーチ事業

館外で実験教室や授業支援を行い、教育施設の支援や、イベントや市街地の活性化の取組みを支援した。

・若草通り「街市」４月
　参加者数　　子ども　１００人、大人　２００人　　延べ　３００人
・どろだんご教室（大塚児童センター）
　参加者数　　子ども　　１５人、大人　　６人　　延べ　　２１人
・若草通り「街市」８月
　参加者数　　子ども　　８７人、大人　２８０人　　延べ　３６７人
・宮崎駅　駅感謝祭
　参加者数　　子ども　　４５人、大人　　３５人　　延べ　　８０人

・えきマチ一丁目　ワークショップ

参加者数　　子ども　　４８人、大人　　４５人　　延べ　　９３人

・未来みやざき子育て応援フェスティバル２０１７

参加者数　　子ども　５０２人、大人　２４８人　　延べ　７５０人

・若草通り「街市」１２月

参加者数　　子ども　　５０人、大人　　７０人　　延べ　１２０人

・若草通り「街市」３月

参加者数　　子ども　１００人、大人　３００人　　延べ　４００人

⑲インターンシップ、職場体験

中学生の職場体験学習及び、高校生や宮崎市のインターンシップの受入れをし、青少年の健全育成に貢献するとともに、当館の運営や事業、業務に理解をしていただく機会とした。今年度は中学校１０校、高等学校１校、宮崎市から２名を受け入れた。

参加者数　　延べ　　３２人

⑳宮崎市教育委員会教職員初任者研修

宮崎市に勤務する教職員初任者に対して、教育施設を活用した授業づくりについての研修を行い、実践的指導力を向上させる機会とした。

開催期日　　平成２９年１１月２１日（火）

参加者数　　延べ　　３９人

㉑ダジックアース教員向けセミナー

学力向上を目的に、学校の授業で有効な活用ができる教材である「ダジックアース」について、教職員を対象に紹介とともに、活用方法や操作方法などをレクチャーするセミナーを開催した。

開催期日　　平成３０年１月１３日（土）、１９（金）

参加者数　　延べ　　２３人

（２）共催事業　（　）は主催者名

①宮崎地区サイエンスコンクール展　　実 施 日　平成２９年９月２日（土）～１２日（火）
（科学夢チャレンジ事業宮崎地区実行委員会）　入場者数　子ども　３６０人、大人　５８４人、延べ　９４４人

②県学校発明くふう展　　実 施 日　平成２９年１０月１３日（金）～１５日（日）
（宮崎県発明協会）　入場者数　子ども　３４２人、大人　３５１人、延べ　６９３人

③宮崎市中学校毛筆展　　実 施 日　平成２９年１０月３１日（火）～１１月１２日（日）
（宮崎市中学校書写部会）　入場者数　子ども　６２７人、大人　６９５人、延べ１，３２２人

④県特別支援学校アート展　　実 施 日　平成２９年１１月２１日（火）～１１月２６日（日）
（県特別支援学校アート展事務局）　入場者数　子ども　２１５人、大人 ４９１人、延べ　７０６人

⑤宮崎市中学校硬筆展　　実 施 日　平成３０年1月１２日（金）～２１日（日）
（宮崎市中学校書写部会）　　入場者数　子ども　３１３人、大人　５９２人、延べ　９０５人

⑥航空教室　　実 施 日　平成３０年　1月２７日（土）
（航空大学校）　　入場者数　子ども　　１５人、大人　　５人、延べ　　２０人

⑦ディスカバリーキッズ科学実験館　　実 施 日　平成３０年　3月　3日（土）
（宮崎ケーブルテレビ（株））　　入場者数　子ども　　９７人、大人　　９８人、延べ　１９５人

宮崎市歴史資料館
【みやざき歴史文化館】

１　管理運営事業

平成２９年度から３か年の指定管理を受け、平成２９年度のみやざき歴史文化館の管理運営業務を行い、施設の維持管理及び展示物等の円滑な運営を行うため保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

（１）利 用 状 況

開　館　日　数	307 日
入　館　者　数	55,833 人
１日平均入館者数	182 人

（２）利 用 内 訳

①　入館者数（小人・大人）内訳

小　人　26,434 人（47.3%）
大　人　29,399 人（52.7%）
合　計　55,833 人

②　入館者数（個人・団体）内訳

個　人　50,381 人（90.2%）
団　体　5,452 人（ 9.8%）
合　計　55,833 人

③　県内教育利用内訳

・広域圏内

幼稚園・保育所　479 人（ 9.2%）
小学校　1,228 人（23.5%）
中学校　0 人（　0%）
一般（参考）　3,520 人（67.3%）
合　計　5,227 人

・広域圏外

幼稚園・保育所　0 人（　0%）
小学校　40 人（31.7%）
中学校　0 人（　0%）
一般(参考)　86 人（68.3%）
合　計　126 人

④　県外団体利用内訳

一　般　57 人（57.6%）
小学校　42 人（42.4%）
中学校　0 人（　0%）
合　計　99 人

⑤　県外地域別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
九州	2	70	70.7
四国	0	0	0
近畿	1	29	29.3
中国	0	0	0
中部	0	0	0
関東	0	0	0
東北	0	0	0
北海道	0	0	0
合計	3	99	100

⑥　九州内県別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
福岡	1	28	40.0
佐賀	0	0	0
長崎	0	0	0
熊本	0	0	0
大分	0	0	0
鹿児島	1	42	60.0
沖縄	0	0	0
合計	2	70	100

２　常設展示事業

宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能、神話、民具等に関する資料を展示し、見て、触れて、楽しく学びながら歴史・文化に親しみ、郷土を理解する場を提供した。

３　企画展示事業

（１）企画展『歴史文化館のあゆみ展』

平成２８年度に行った各種体験学習や本館を訪れた小学校等の説明や体験活動等の様子をパネルで紹介した。

開催期日　　平成２９年４月１５日（土）～５月　７日（日）
入場者数　　延べ　　７，８２６人

（２）夏の企画展『むかしの子どもたちのくらし展』

子どもたちのくらしにテーマを絞り、誰もが通ってきた古き良き昔の子ども時代を振り返る展示を行い、高齢者の方々に懐かしさを感じていただくとともに、子ども達には道具類を通して先人の知恵を学ぶ機会とした。

開催期日　　平成２９年７月１５日（土）～９月　３日（日）
入場者数　　延べ　１４，３２０人

（３）企画展『みやざき歴史文化館２５周年記念事業「収蔵品展」』

貴重な収蔵資料を展示・公開することで、当館のあゆみや活動を振り返り、改めて地域の資料館としての役割を市民の方々に知っていただく機会とした。

開催期日　　平成２９年１０月１４日（土）～１２月　３日（日）
入場者数　　延べ　　６，５３８人

（４）企画展『宮崎の美術』

歴史３館が所蔵する美術資料を中心に展示を行うとともに絵画の見方や宮崎における美術の歴史を紐解くことで、美術資料への関心を深め、郷土の美術に興味をもってもらう機会とした。

開催期日　　平成２９年１１月　４日（土）～平成２９年１２月　３日（日）
入場者数　　延べ　　３，９２６人

（５）企画展『むかしの道具展』

常設している民具資料に新たに寄贈していただいた民具資料を加えることで、より充実した民具コーナーを提供し、暮らしの移り変わりなどを学ぶ機会とした。

開催期日　　平成３０年１月１３日（土）～２月２５日（日）

入場者数　　延べ　　５，３０７人

（６）企画展『歴史３館収蔵品展』

佐土原・天ケ城両館の開館日数の減少に伴い、市民が両館の収蔵する資料を目にする機会も減少した。そこで、当館において両館の資料を展示することで、市民のニーズに応えた。

開催期日　　平成３０年２月１７日（土）～３月２５日（日）

入場者数　　延べ　　６，３１２人

４　歴史文化振興・教育普及事業

（１）講　座

①宮崎の歴史文化講座

宮崎の歴史・文化について、歴史研究家の方々を講師として実施した。

実施回数　　５回

参加者数　　延べ　　７０人

②古文書講座

みやざき歴史文化館ボランティア会員４名を講師として、『有馬晴信・竜造寺隆信戦記』・『宮崎騒動覚書』・『長崎表夷国舩来着騒動之一件』・『貝原養生訓』の解読演習を行った。

実施回数　　１６回

参加者数　　延べ　　４９９人

（２）史跡探訪会

県内の史跡や建造物等の文化財を訪ね、それぞれの文化財に対する理解と関心を深めるとともに、文化財への愛護意識を啓発する目的で実施した。

【1回目・５回目】宮崎市内の史跡めぐり

開催期日　　①平成２９年９月１６日（土）　⑤平成３０年　３月１０日（土）

見 学 地　　⑤加護神社、円南寺、旧内海駅、外所大地震供養碑、西教寺他

講　　師　　みやざき歴史文化館学芸員、円南寺住職、西教寺住職

参加者数　　①荒天のため中止　⑤２１人

【２回目・４回目】延岡方面の史跡めぐり

開催期日　　②平成２９年１０月２８日（土）　④平成２９年１２月１６日（土）

見 学 地　　②延岡城跡、西郷隆盛宿陣跡他　④畳堤、筆子塚、扇塚他

講　　師　　みやざき歴史文化館学芸員、延岡市ガイドボランティア

参加者数　　②１８人　④１８人

【３回目】小林・えびの方面史跡めぐり

開催期日　　③平成２９年１１月１８日（土）

見 学 地　　漆野原一里塚、紙屋関所跡、榎田関跡、堂本井関、真幸駅他

講　　師　　みやざき歴史文化館学芸員

参加者数　　③１８人

（３）体験学習

サツマイモの栽培・収穫等の農耕体験学習や昔の人々の暮しと関連した「竹を使ったおもちゃ作り」等の製作体験学習を行うもので、子どもと保護者、一般の参加者を対象に実施した。

農耕体験学習　　実施回数　　４回　※畝作りは荒天のため中止
　　参加者数　　延べ　７５人
製作体験学習　　実施回数　　２２回　※ネイチャーゲームは荒天のため中止
　　参加者数　　延べ４４０人

（４）学校教育との連携

学校教育において体験学習が重視される中で、当館でも学校教育への支援活動を行った。主なものは、隣接する住吉南小学校「歴史文化体験クラブ」が当館を利用しての体験学習（全９回）や、教育委員会の助成制度等を利用しての当館見学（１３校）があった。見学の際は「昔の道具」「厩屋」などの展示説明や石臼体験などの体験学習も行った。

５　イベント事業

（１）こどもの日イベント

鎧・兜の試着、紙兜作り、鯉のぼり作り、まが玉作り、竹とんぼ・鶯笛作り、史跡公園ウォークラリー、野点ほか多数のイベントを実施した。

開催期日　　平成２９年５月３日（水・祝）～５月５日（金・祝）
参加者数　　延べ　　５，９５２人

（２）夏休みイベント

①　「史跡公園　生き物採集教室」
開催期日　　平成２９年７月２２日（土）
内　　容　　蓮ケ池史跡公園をめぐりながら、昆虫などの生き物を採集
参加者数　　３４人

②　「魚のつかみ取り」（２回）
開催期日　　①平成２９年７月３０日（日）　②平成２９年８月２０日（日）
内　　容　　館の前にプールを設置し、アユのつかみ取りを実施
参加者数　　①１００人　②１００人

③　「夏休みの楽しい工作」（１回）
開催期日　　平成２９年８月３日（木）
内　　容　　風鈴作り
参加者数　　３１人

（３）春のイベント

竹とんぼ・鶯笛作りや紙の工作、各種クイズラリーなどを実施した。

開催期日　　平成３０年３月２１日（水・祝）
参加者数　　２，４５７人

（４）子どものための音楽会（事務局経営戦略課事業）

協会が管理運営する６施設において、乳幼児とその保護者が気軽に参加できる演奏会を、地元アーティスト等による生演奏により開催した。各施設の文化・教育機関としての価値を高め、利用促進の機会とした。

開催期日　　平成２９年１１月　２ 日（木）
内　　容　　リトミック
演 奏 者　　鈴　木　太　士
参加者数　　子ども　４３人　大人　４０人　　計　８３人

６　資料収集、調査・研究

（１）資料収集について公共施設を中心に情報提供を呼びかける広報を行い、市民より歴史・民俗資料４２点の寄贈があった。

（２）資料管理方法について調査・研究を行い、報告をまとめた。

【宮崎市佐土原歴史資料館】

1　管理運営事業

平成２９年度から３か年の指定管理を受け、平成２９年度の宮崎市佐土原歴史資料館の管理運営業務を行い、施設の維持管理及び展示物等の適切な管理運営を行うため保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

（1）利 用 状 況

開　館　日　数	144 日
入　館　者　数	11,401 人
1 日 平 均 入 館 者 数	79 人

（2）利 用 内 訳

①入館者数（小人・大人）内訳

小　人　　2,868 人（25.2%）
大　人　　8,533 人（74.8%）
合　計　　11,401 人

②入館者数（個人・団体）内訳

個　人　　9,850 人（86.4%）
団　体　　1,551 人（13.6%）
合　計　　11,401 人

③県内教育利用内訳

・広域圏内

幼稚園・保育所　　725 人（50.0%）
小学校　　400 人（27.6%）
中学校　　137 人（ 9.4%）
一般（参考）　　189 人　（13.0%）
合　計　　1,451 人

・広域圏外

幼稚園・保育所　　0 人（　0%）
小学校　　0 人（　0%）
中学校　　0 人（　0%）
一般（参考）　　60 人（100%）
合　計　　60 人

④　県外団体利用内訳

一　般　　40 人（100%）
小学校　　0 人（　0%）
中学校　　0 人（　0%）
合　計　　40 人

⑤　県外地方別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率％
九州・沖縄	0	0	0
四国	0	0	0
中国	0	0	0
関西	2	40	100
中部	0	0	0
関東	0	0	0
東北	0	0	0
北海道	0	0	0
合計	2	40	100

２　常設展示事業

（１）鶴松館

江戸期の佐土原城二の丸居館跡の発掘調査をもとに想像復元した「鶴松館」では、佐土原藩にまつわる掛軸・屏風・鎧兜などや、佐土原島津家の調度品を展示するとともに、地元に伝承される佐土原人形を展示している。藩主が日常政務をとる場の外観を再現した書院では、古代から近代にかけての佐土原の歴史について、各時代の資料を展示し解説している。

（２）商家資料館　旧阪本家

江戸期から味噌や醤油の醸造販売を手がけていた商家「旧阪本家」、明治 38（1905）年築重層入母屋造（平入）（市指定有形文化財・市景観重要建造物）を資料館として、１階に机や銭箱などを配した帳場を再現し、2 階に当時の商いに関する資料や城下の町並みの古写真を展示している。

３　企画展示事業

（１）企画展「佐土原の伝統猟法　巨田池の鴨網猟」

鶴松館において、古来の伝統猟法（県指定無形民俗文化財）の様子を写真やパネル、映像で紹介し、猟具や歴史資料等も展示した。

開催期日　　平成２９年５月１５日（月）～６月１４日（水）

入場者数　　延べ　５，４５８人

（２）企画展「旗本　島之内島津家　－もう一つの島津家－」

島津久寿は、徳川家直属の家臣 旗本となり、佐土原島津家から分家して島之内島津家を興し、幕末に至るまで現在の宮崎市住吉地域等を治めたことはあまり知られていない。そこで、貴重な資料等を子孫の方から借り受け展示・公開した。

開催期日　　平成２９年１０月２８日（土）～１２月１７日（日）

入場者数　　延べ　１，０６３人

４　歴史文化振興・教育普及事業

（１）体験学習

城下町佐土原に古くから伝わる工芸品等の製作及び城跡の自然環境を活用し、昔のくらしと文

化にまつわる体験学習を、子どもとその保護者及び一般の参加者を対象に実施した。

実施回数　　７回　（７講座）

参加者数　　延べ　１５８　人

５　イベント事業

（１）佐土原くじら子どもまつり（共催事業）

佐土原城の駅(いろは館)と共催で子どもを対象に市内外からの集客を図り、鎧・兜を試着し史跡文化財等を巡るイベントを実施し全箇所訪れた子どもに粗品を提供した。

開催期日　　平成２９年５月３日（水・祝）～５月５日（金・祝）

参加者数　　３５９人

（２）佐土原花しょうぶまつり（共催事業）

佐土原花しょうぶまつり実行委員会との共催で、鶴松館裏庭の花しょうぶ園で第１３回花しょうぶまつりを実施した。花しょうぶ園付近にて開会行事を行い、また野点・大正琴の演奏・コーラス等を実施し、隣接する鶴松館では地元の音楽愛好家による楽器の演奏や唱歌等を行い、佐土原城の駅においては軽トラ市等を実施し集客を図った。

開催期日　　平成２９年５月２７日（土）～２８日（日）

参加者数　　延べ　３，３２４人

（３）神代独楽回し大会（自主事業）

江戸時代から佐土原藩の下級武士の内職として作られ、端午の節句の贈答品として伝えられてきた神代独楽を使ったこま回し大会を開催した。佐土原伝統的工芸品保存会協力のもと、児童の部と一般の部に分けて、こまが回っている時間を競い、優勝者に賞品を贈った。

開催期日　　平成３０年１月７日（日）

参加者数　　計　１７人

（４）子どものための音楽会（事務局経営戦略課事業）

協会が管理運営する６施設において、乳幼児とその保護者が気軽に参加できる演奏会を、地元アーティスト等による生演奏により開催した。各施設の文化・教育機関としての価値を高め、利用促進の機会とした。

開催期日　　平成２９年　５月２４日（水）

内　　容　　POPS

演 奏 者　　エトヤンヤンヤン

参加者数　　子ども３１人、大人３４人　　計６５人

６　資料収集、調査・研究

（１）資料収集

市民より佐土原人形や掛け軸等、計１７点の寄贈を受けた。

（２）資料調査

旧佐土原藩士家の文書等の歴史資料の調査を数回実施した。

【宮崎市天ケ城歴史民俗資料館】

１　管理運営事業

平成２９年度から３か年の指定管理を受け、平成２９年度の宮崎市天ケ城歴史民俗資料館の管理運営業務を行うとともに施設の維持管理及び展示物等の確実な保存、保管を行うため、保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

（1）利 用 状 況

開　館　日　数	136 日
入　館　者　数	20,428 人
1 日 平 均 入 館 者 数	150 人

（2）利 用 内 訳

①　入館者数（小人・大人）内訳

小　人　　13,075 人（64.0%）
大　人　　7,353 人（36.0%）
合　計　　20,428 人

②　入館者数（個人・団体）内訳

個　人　　17,406 人（85.2%）
団　体　　3,022 人（14.8%）
合　計　　20,428 人

③　県内教育利用内訳

・広域圏内

幼稚園・保育所　　65 人（ 2.2%）
小学校　　2,827 人（ 96.2%）
中学校　　0 人（　0%）
一般（参考）　　48 人（ 1.6%）
合　計　　2,940

・広域圏外

幼稚園・保育所　　0 人（　0%）
小学校　　7 人（100%）
中学校　　0 人（　0%）
合　計　　7 人

④　県外団体利用内訳

小学校　　0 人（　0%）
中学校　　0 人（　0%）
一　般　　75 人（100%）
合　計　　75 人

⑤　県外地域別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
九州	1	75	100
四国	0	0	0
中国	0	0	0
近畿	0	0	0
中部	0	0	0
関東	0	0	0
東北	0	0	0
北海道	0	0	0
合計	1	75	100

⑥　九州内県別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
福岡	0	0	0
佐賀	0	0	0
長崎	0	0	0
熊本	0	0	0
大分	0	0	0
鹿児島	1	75	100
沖縄	0	0	0
合計	1	75	100

２　常設展示事業

大淀川とともに生きてきた旧高岡町の人々の生活ぶりや薩摩藩の外城として栄えた江戸時代の高岡、穆佐の武家社会の様子などを資料や映像などの展示を通して紹介している。見て、触れて、楽しく学びながら歴史・文化に親しみ、郷土愛を培う場を提供した。

３　企画展示事業

（１）企画展「天ケ城蔵出し展」

本館にある未公開資料や学芸員が厳選した資料を展示公開した。さらに、多くの方に来館していただくため、親子で参加するワークショップやクイズラリーも併せて実施した。

開催期日　　平成２９年４月３日（月）～５月１４日（日）

入場者数　　延べ　４，６６２人

（２）企画展「高岡の指定文化財展」

高岡町を高岡・穆佐・去川にエリア分けをして、それぞれに所在する文化財について紹介した。さらに、高岡の町並み体験やクイズラリー等も併せて実施し、高岡をＰＲした。

開催期日　　平成３０年３月１５日(木)～４月１４日（土）

入場者数　　延べ　９，８２９人

４　歴史文化振興・教育普及事業

（１）体験学習

伝統的なおもちゃを中心とした製作や草木染め、芋ほり、かまど炊飯、ミニ門松作りなどの体験学習を行うもので、主に宮崎市近郊在住の子どもとその保護者を対象に実施した。

実施回数　　全８回　参加者数　延べ　１９２人

（２）授業支援事業「くらしを支えた昔の道具」

資料館に収蔵している昔の道具を活用し、小学校の社会科における「変わってきた人びとのくらし」の学習等の充実に資することを目的として実施した。

対　　象　　宮崎市、綾町、国富町内の小学校

方　　法　　事前に学校へカタログを配布し、申し込みのあった学校に道具を運搬し

て、当方の管理下で道具の活用を支援した。（うち２件については、当館にて実施）授業においては、古い道具を見たり触れたりする見学体験活動を十分行ったのち、児童の質問に応じて、道具についての解説を行った。

実施回数　　全３１回実施

参加者数　　延べ　２，４８３人

５　イベント事業

（１）子どものための音楽会（事務局経営戦略課事業）

協会が管理運営する６施設において、乳幼児とその保護者が気軽に参加できる演奏会を、地元アーティスト等による生演奏により開催した。各施設の文化・教育機関としての価値を高め、利用促進の機会とした。

開催期日　　平成３０年　３月１６日（金）

内　　容　　童謡など

演 奏 者　　永　吉　　愛（ボーカル、キーボード）

参加者数　　子ども２４人、大人３１人　　計５５人

（２）イベント　桜まつり（自主事業）

特別開館期間と桜の開花にあわせて、館内外で親子で楽しめるイベントを企画した。昔の遊び体験やクイズラリーなどを実施した。

開催期日　　平成３０年３月２４日（土）

内　　容　　昔の遊び体験、クイズラリー

参加者数　　１，１２５人

６　資料収集、調査・研究

歴史・民俗資料を中心とした資料１２６点の寄贈があった。

大淀川学習館

1　管理運営事業

平成２９年度から３か年の指定管理を受け、大淀川学習館の適切かつ円滑な管理運営業務を行うため、展示物の工夫等を行うとともに、施設の維持管理、保守・点検などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

（1）利 用 状 況

開　館　日　数	304 日
入　館　者　数	181,038 人
1 日 平 均 入 館 者 数	596 人

（2）利 用 内 訳

①　入館者数（小人・大人）内訳

小　人	99,595 人	（55.0%）
大　人	81,443 人	（45.0%）
合　計	181,038 人	

②　入館者数（個人・団体）内訳

個　人	161,799 人	（89.4%）
団　体	19,239 人	（10.6%）
合　計	181,038 人	

③　入館者数（広域圏内 学校団体・広域圏外 学校団体・一般団体）内訳

・　広域圏内 学校団体

幼稚園・保育所	6,441 人	（62.1%）
小学校	3,650 人	（35.2%）
中学校	0 人	（ 0%）
高等学校	0 人	（ 0%）
特別支援学校	203 人	（ 2.0%）
大学・短期大学	76 人	（ 0.7%）
合　計	10,370 人	

・　広域圏外 学校団体

幼稚園・保育所	285 人	（10.7%）
小学校	2,311 人	（86.6%）
中学校	0 人	（ 0%）
高等学校	0 人	（ 0%）
特別支援学校	74 人	（2.8%）
大学・短期大学	0 人	（ 0%）
合　計	2,670 人	

・　一般団体

医療・福祉	2,964 人	（47.8%）
教　育	1,007 人	（16.2%）
その他	2,228 人	（36.0%）
合　計	6,199 人	

④　県外団体利用内訳

小　人	0 人	（0%）
大　人	0 人	（0%）
合　計	0 人	

２　展示事業

（１）常設展示

大淀川及びその流域の自然、文化、歴史などについて、みて、ふれて、楽しみながら河川環境に対する学びを深めるため、季節に応じた生体の展示を行った。また、エントランスホールでは、メキシコサラマンダー（ウーパールーパー）など、珍しい生体も展示した。

（２）生体展示

①　自然楽習園（がくしゅう）

自然楽習園（がくしゅう）では、子どもたちの自然を観察する力を向上させるため、園内に小川を再現し、チョウの食草や蜜源植物を育てている。季節ごとのチョウの姿を自然に近い状態で再現しており、学習効果を高めるために、生体の状況に応じた説明板の設置など、解説の工夫も行っている。常時１００頭以上の個体を維持しており、平成２９年度の総放蝶数は、５,１６６頭に及んだ。

②　生体展示ホール

３６０度観察可能な円型水槽が２台設置されている。水槽内には、日向灘でみられる海水魚と他地域の海水魚を比較展示している。来館者の中心となる小さな子どもたちに人気のある生体を充実させ、また、子どもたちの視線の高さも考慮しながら、より観察しやすい場所に配置換えするなどの工夫を行った。

③　ホタル展示室

ホタルビオトープのリニューアルをはじめとするホタル羽化率向上の取り組みの結果、自館内で３９匹のホタルの羽化に成功した。また、成虫だけでなく、長い期間を過ごす幼虫の姿の観察活動を促すことで学習効果を高めることができた。

（３）企画展示

①　特別企画展　「水の生き物と仲良くなろう！ザリガニ展」

内　　容　　生き物とのふれあいを通して生命の素晴らしさに気づかせるとともに、在来種と外来種について正しい知識をもたせ、大淀川流域の自然を大切にしようとする意識を育てるために、アメリカザリガニを多数展示し、ザリガニ釣りを体験したりする活動を行った。

開催期日　　平成２９年４月８日（土）～６月１１日（日）

入場者数　　延べ　３６，９３８人

②　特別企画展　「森の生き物と仲良くなろう！カブトムシ・クワガタムシ展」

内　　容　　大淀川流域や世界で見られるカブトムシやクワガタムシの生態や生息環境についての理解を深め、昆虫への興味・関心を高めるために、カブトムシを自然に近い状態で放し飼いにするとともに、夜間の活動のようすも観察することができるように遮光できるコーナーをつくり展示した。

開催期日　　平成２９年７月１日（土）～９月１８日（月・祝）

入場者数　　延べ　６６，２５０人

③　企 画 展　「よく見てみよう！ちょっぴりこわい生き物展」

内　　容　　ヘビやゴキブリなど、日ごろあまり観察する機会の少ない生き物についての理解を深めるため、生体の展示を行った。

開催期日　　平成２９年９月２３日（土）～１０月２９日（日）

入場者数　　延べ　１７，２２９人

④　特別企画展　「水の生き物と仲良くなろう！ガラルファフィッシュ体験」

内　　容　　様々な水の生き物の一つとして、人の角質を食べてくれる珍しい魚「ガラルファフィッシュ」を多数用意し、設置したプールでの体験活動を行った。

開催期日　　平成２９年9月３０日（土）～１１月５日（日）

入場者数　　延べ　１７，８８４人

⑤　企 画 展　「ちっちゃい生き物　大たんけん展」

内　　容　　生き物への興味・関心を高めるため、身近な動植物をマクロ撮影し、色や形をわかりやすく伝えるとともに、肉眼では見ることができない微細なつくりとその役割がわかる展示を行った。

開催期日　　平成２９年１１月１１日（土）～１２月１０日（日）

入場者数　　延べ　１０，４０２人

⑥　企 画 展　「カラー魚拓への誘い」

内　　容　　カラー魚拓の展示を通して、魚の形や色、模様などの特徴を鮮やかに伝え、魚類への興味・関心を高めるために、地元の愛好家たちの作品を展示した。

開催期日　　平成２９年１２月２日（土）～平成３０年1月８日（月・祝）

入場者数　　延べ　１０，８６３人

⑦　企 画 展　「県産材積み木で遊ぼう！」

内　　容　　宮崎県産材で作製した「からから積み木」を大量に準備し、自由な発想のもと家族等で作品を制作し、完成品と一緒に写真撮影をするなどした。

開催期日　　平成２９年１２月１６日（土）～平成３０年3月２５日（日）

入場者数　　延べ　３３，１３７人

⑧　企 画 展　「幸せかもん！カメカメ展」

内　　容　　新年を迎えるにあたって、古来より縁起の良い生き物とされるカメを展示し、カメにまつわる昔話なども織り交ぜたパネル展示も行った。カメに直接ふれることのできるイベントも開催した。

開催期日　　平成３０年1月４日（木）～1月２８日（日）

入場者数　　延べ　９，０４１人

⑨　企 画 展　「大淀川のお散歩パネル展」

内　　容　　大淀川全域の自然・文化・歴史など、大淀川がもたらす豊かさを示す写真をパネルにして、展示した。

開催期日　　平成３０年1月３０日（火）～3月２５日（日）

入場者数　　延べ　２０，３４３人

⑩　企 画 展　「春一番！ひな山」

内　　容　　大淀川流域の民俗文化への興味・関心を高めるために、大淀川清流域の綾町で育まれた「ひな山」をエントランスホールに展示した。

開催期日　　平成３０年2月３日（土）～3月４日（日）

入場者数　　延べ　１３，０９７人

（４）作品募集と展示

①　作 品 展　　第１７回　大淀川流域の写真展

内　　容　　流域の自然の姿への関心を高め、自然を大切にする心を育てるために、大淀川流域の動植物・風景等の写真を募集・展示した。

応 募 数　　３９０点

開催期日　　平成２９年９月１３日（水）～１０月１日（日）

入場者数　　延べ　　５，９８７人

②　作 品 展　　第２３回 大淀川流域の動植物画コンクール入賞作品展

内　　容　　大淀川流域の動植物に対する興味・関心を高めるとともに、動植物を観察する力を育てるために、大淀川流域に生息・生育する動植物の精密画を募集・展示した。

応 募 数　　２，５１８点

開催期日　　平成２９年１０月７日（土）～１１月２３日（木・祝）

入場者数　　延べ　２１，８８３人

（５）川のシアター

内　　容　　大淀川の自然環境への興味・関心を高めるため、７本の番組（A 大淀川の自然を訪ねて、B 大淀川の水と生き物たち、C 大淀川の生い立ちと生き物、D 母なる川～大淀川～　E 小笠原の海　F 大淀川水辺のおさんぽ　G 大淀川の虫たち）をオリジナルの立体ハイビジョンにて上映した。

上映回数　　１，７３０回

観覧人数　３４，６８６人

①　定常上映

平日は一日５回、休祝日は一日６回、定時に上映した。

②　特別上映

団体上映：団体の来館時間に応じ、また、都合がつく限り番組も調整して上映した。

（６）里山の楽校（がっこう）

多目的施設「杉の家」、地層観察コーナー、野草コーナーなどを設置し、動植物の観察、地層観察など、幼稚園や保育所等の園児、小学校の児童が中心に活用した。下北方浄水場の造成工事にともなう里山の楽校の改修が行われ、第二食草園が整備された。

３　学校対応事業

学校、幼稚園等の教育課程に沿った支援活動を行うことによって、教育効果を高めることを目的として実施した。

（１）授業支援

対　　象　　幼稚園・小学校等

実施回数　　１２回

参加者数　　延べ　１，２３９人

内　　容　　チョウの生態や地層等の学習について、本物の良さを最大限生かしつつ、館で作成したワークシートを用いて学習指導を行った。

（２）指導者支援

対　　象　　小・中学校教諭等

実施回数　　２回

参加者数　　延べ　２１人

内　　容　　チョウとメダカについての生態観察や飼育方法に関する内容について、先生方に講義・演習を行った。

（３）子ども会・ＰＴＡ支援

対　　象　　子ども会やＰＴＡ関係者等

実施回数　　１１回

参加者数　　延べ　４８４人

内　　容　　展示に関する説明や自然をテーマにした簡単な工作活動を行った。

（４）出前授業等

対　　象　　児童館や地域づくり協議会等

実施回数　　１７回

参加者数　　延べ　１，２１８人

内　　容　　植物を使ったものづくりや野外活動・生き物の講座を行った。また、子育て応援フェスティバルでの出前講座も行った。

４　教室事業

自然に対しての興味・関心を高めるとともに、環境に対する理解を深めることを目的として行った。

（１）環境教室

対　　象　　小学生以上

実施回数　　３回（※「川の生き物で水質調査」は、雨天により中止）

参加者数　　延べ　１２２人

内　　容　　「ホタル環境調査」「わたしたちのくらしと水の環境学習」「大淀川水質環境パックテスト」を行った。

（２）飼育・観察教室

対　　象　　小学生以上

実施回数　　３回（※「明りに集まる昆虫観察」は、雷注意報の発令を受けて中止、「バスで行くオオムラサキ野外観察会」は、雨天により中止）

参加者数　　延べ　７８人

内　　容　　「メダカの飼育・観察教室」「カブトムシ・クワガタムシの飼育教室」「水辺の生きもの観察会」を行った。

（３）活動教室

対　　象　　小学生以上

実施回数　　５回

参加者数　　延べ　２２８人

内　　容　　「食べられる野草さがしてみよう！」「ミツバチのハチミツを採取しよう！」「「アユの稚魚放流しよう！」「ハーブティーを楽しもう！」「シイタケの駒打ちをしよう！」を行った。

（４）ものづくり教室

対　　象　　小学生以上

実施回数　　８回

参加者数　　延べ　２４９人

内　　容　　「昆虫標本を作ろう！」「植物標本を作ろう！」「貝殻で工作しよう！」「植物でウェルカムボードを作ろう！」「野鳥の巣箱を作ろう！」「まつぼっくりでクリスマスツリーを作ろう！」「カラー魚拓を製作しよう！」「ミツロウでオリジナルキャンドルを作ろう！」を行った。

（５）園児教室

対　　象　　幼稚園や保育所等の園児

実施回数　　４０回

参加者数　　延べ　１，３２９人

内　　容　　生体を見たり触れたりする活動や簡単な工作活動、県産材を使った積み木体験を行った。

５　イベント事業

連休や学校の休業日を利用して、学習館の利用を促進するとともに、自然に親しみ、水環境に対する関心を高めることを目的として行った。

（１）季節のイベント

対　　象　　全来館者（内容により年齢制限を設けているものもある）

実施回数　　９回（※「カブトムシ・クワガタムシのすもう大会」「メダカすくい大会」は、台風により中止）

参加者数　　延べ　５２５人

内　　容　　「グリーンアドベンチャー」「カブトムシの幼虫を育てよう」「ミニ釣り大会」「カブトムシ・クワガタムシのクイズ大会」「アユのつかみどり大会」「水辺の楽校紙飛行機大会」「ふれあいもちつき大会」「昆虫輪投げ大会」「大淀川学習館クイズ」を行った。

（２）ふれあいウィークエンド

対　　象　　全来館者

実施回数　　２３回（※「紙コップで工作しよう」一回分は、台風により中止）

参加者数　　延べ　８８２人

内　　容　　「紙コップで工作しよう（２回)」「ミニ鯉のぼりを作ろう」「新聞紙でかぶと飾りを作ろう（２回)」「針金アメンボを浮かせよう（２回)」「ゲコゲコガエルを作ろう（３回)」「折り紙で水族館をつくろう（３回)」「七夕飾りを作ろう」「紙コップでセミの声をきこう（２回)」「カブトムシを捕まえて育ててみよう」「木の実であそぼう」「バランストンボを作ろう（２回)」「タネ模型を飛ばそう」「お正月飾りを作ろう」「カブトムシの幼虫を大きく育てる方法を知ろう」を行った。

（３）講演会

対　　象　　全来館者

実施回数　　１回

参加者数　　延べ　５１人

内　　容　　自然環境についての理解を深めるために、小中学生向けの講話「ダイビングと海の生き物」を行った。

６　その他の事業

（１）学校教育との連携

小中学校の校外学習への支援事業や学校教育における生活科、理科、総合的な学習の時間における環境学習など、ハード・ソフトの両面から学校教育の支援を図るとともに、各種研修の対応についても内容の充実を図った。

来館学校

幼稚園	８９団体	延べ来館者	２，９８９人
幼保連携型認定こども園	３７団体	述べ来館者	９０７人
小学校	８４団体	延べ来館者	５，９６１人
中学校	０団体	延べ人数	０人
高等学校	０団体	延べ来館者	０人
特別支援学校他	９団体	延べ来館者	２７７人
大学・短期大学	３団体	延べ来館者	７６人
合　計	２２２団体	延べ来館者	１０，２１０人

（２）カブトムシの幼虫プレゼント(宮崎科学技術館との連携)

宮崎科学技術館のこどもの日無料開館に合わせ、科学技術館の受付にて「カブトムシの幼虫プレゼントチケット」を配布し、翌日、大淀川学習館にチケットを持参した子どもにカブトムシの幼虫（館にて産卵させ飼育したもの）をプレゼントした。

開催期日　　平成２９年５月６日（土）
参加者数　　延べ　　子ども８７人

（３）子どものための音楽会（事務局経営戦略課事業）

協会が管理運営する６施設において、乳幼児とその保護者が気軽に参加できる演奏会を、地元アーティスト等による生演奏により開催した。各施設の文化・教育機関としての価値を高め、利用促進の機会とした。

期　　日　　平成３０年　１月１８日（木）
内　　容　　カンパーニュ　クワテュオール(声楽・クラリネット・フルート・ピアノ)による演奏
参加者数　　①子ども６８人、大人７２人　　延べ　１４０人

（４）各種関係団体との連携　（　）内は団体名

①アユの稚魚を放流しよう　　実 施 日　平成２９年４月２２日（土）
（宮崎県内水面振興センター）　入場者数　子ども　４５人、大人　２５人、計　７０人

②ホタル環境教室　　実 施 日　平成２９年５月１３日（土）
（山崎エコアップ会（ホタル保存会））　入場者数　子ども　１９人、大人　１９人、計　３８人

③バスで行くオオムラサキ自然観察会　実 施 日　平成２９年６月２４日（土）
（宮崎昆虫同好会）　入場者数　雨天のため中止

④明りに集まる昆虫観察会　　実 施 日　平成２９年７月８日（土）
（宮崎昆虫同好会）　　入場者数　雷注意報発令のため中止

⑤自由研究にぴったり！浄水場見学　実 施 日　平成２９年７月２５日（火）
（宮崎市上下水道局(富吉上水場)）　入場者数　子ども　２７人、大人　１７人、計　４４人

⑥カラー魚拓を制作しよう　　実 施 日　平成２９年１２月１０日（日）
（色彩魚拓画会）　　入場者数　子ども　０人、大人　５人、計　５人

（５）情報提供と広報活動

ＩＣＴ（情報通信技術）を積極的に活用し、ＳＮＳ（ブログ、フェイスブック）を用いた情報提供や広報活動を行った。

宮崎市民プラザ

１　管理運営事業

平成２９年度は、当協会が宮崎市民プラザの指定管理者として再指定を受けて４年目となる。管理運営については「公平・公正な管理運営」「満足度の高い管理運営」「安心・安全で効率的な管理運営」の３つの基本方針を定め、利用者サービス向上による利用者増対策に重点的に取り組むとともに、利用者が安全・快適に利用できるよう施設の管理運営を行った。

（1）利 用 状 況

開　館　日　数	307 日
入　館　者　数	236,345 人
1 日 平 均 入 館 者 数	769 人

（2）利 用 内 訳

・ ホール	入場者数	60,546 人	（利用率　81.60%）
・ ギャラリー	入場者数	48,964 人	（利用率　97.07%）
・ 練習室①	入場者数	14,154 人	（利用率　89.90%）
・ 練習室②	入場者数	4,243 人	（利用率　95.77%）
・ 大会議室	入場者数	17,798 人	（利用率　94.14%）
・ 中会議室	入場者数	10,781 人	（利用率　96.74%）
・ 小会議室①	入場者数	6,499 人	（利用率　98.05%）
・ 小会議室②	入場者数	5,398 人	（利用率　95.44%）
・ 和室	入場者数	5,283 人	（利用率　94.79%）
・ 学習室	入場者数	5,714 人	（利用率　85.34%）
・ プレイルーム/授乳室	入場者数	419 人	
・ カフェクレイン	入場者数	6,451 人	
・ エントランス	入場者数	6,314 人	
・ 市民活動センター	入場者数	30,105 人	
・ 団体室	入場者数	5,347 人	
・ ホール打合せ	入場者数	529 人	
・ ギャラリー打合せ	入場者数	48 人	
・ 窓口受付	受付人数	7,691 人	
・ 視察者等	31 団体	61 人	
	合　計	236,345 人	

２　自主事業

自主事業については、「創造･制作事業の実施」「普及･育成事業の実施」「鑑賞事業の実施」の３つの取組方針を定め、公益目的事業と地域活性化の更なる推進に重点的に取り組むとともに、施設の特色を生かした事業を実施した。また、本県出身で落語家の桂歌春さんプロデュースによる寄席が今年で２０周年を迎えたことから、記念事業として取り組んだ。

（１）企画推進委員会の実施状況

第１回　平成２９年１０月２４日（火）　宮崎市民プラザ 大楽屋
（１）平成２９年度宮崎市民プラザ自主事業上半期の実施状況について
（２）平成３０年度宮崎市民プラザ自主事業計画（案）について

第２回　平成３０年３月２８日（水）　宮崎市民プラザ 学習室
（１）平成２９年度宮崎市民プラザ自主事業下半期の実施状況について
（２）平成３０年度宮崎市民プラザ自主事業計画について

（２）自主事業実績

	事業名・出演者等	開催日・場所等	入場料	入場者数
1	第１１回 市民プラザコンサート ～夏のおわりはＪＡＺＺの響きで…～ 【出演】 宮里陽太、松崎＆奥村デュオ、ニューサウンズオーケストラ	平成２９年８月２７日（日） オルブライトホール	入場券／1,000 円 （当日 1,200 円）	501 人
2	子どものための 文化芸術体験プログラム （アウトリーチ事業）	平成２９年９月２２日（金） お話とパントマイム 綾幼稚園	無料	82 人
		平成２９年１２月７日（木） 音の高さを学んでみよう 宮崎ひがし幼稚園	無料	163 人
3	第２３回 宮崎･音のスケッチブック ～おさんぽらいぶ～ 【出演】 松本俊郎 ONE DAY STAND?、Land Cell	平成２９年１０月２２日（日） オルブライトホール（雨天のため）	無料	73 人
4	歌春プロデュース２０周年記念 市民プラザ寄席 大感謝祭!! 【出演】 三遊亭圓楽、春風亭昇太、桂歌春、テツ and トモほか	落語教室（アウトリーチ） 平成２９年９月２０日（水） 木花小学校 古城小学校	無料	34 人 23 人
		平成２９年１１月４日（土） オルブライトホール	指定／3,000 円 （当日 3,600 円） 一般／2,000 円 （当日 2,400 円） 学生／1,000 円 （当日 1,200 円）	492 人
5	公共ホール現代ダンス活性化事業 ダンダンダン活 【講師】田畑真希	アウトリーチ 平成２９年１２月２１日（木） 東大宮コミュニティセンター 平成２９年１２月２２日（金） 宮崎東小学校 東大宮コミュニティセンター	無料	16 人 45 人 20 人
		ワークショップ 平成２９年１２月２３日（土･祝） オルブライトホール	未経験者 500 円 経験者 1,000 円	12 人 11 人
6	オーケストラ・ リクエストコンサート 【出演】 中丸三千繪、MAKOTO、屋比久知奈ほか	平成３０年２月４日（日） オルブライトホール	一般／2,000 円 （当日　2,400 円） 学生／1,000 円 （当日　1,200 円）	513 人

7	川久保賜紀 ヴァイオリン・リサイタル 【出演】 川久保賜紀、ザハール・ブロン、イリーナ・ヴィノグラードワ	平成３０年３月１７日（土） オルブライトホール	指定／3,000 円 （当日 3,600 円） 一般／2,000 円 （当日 2,400 円） 学生／1,500 円 （当日 1,800 円）	358 人
入場者数　合計				2,343 人

３　その他の事業

子どものための音楽会（事務局経営戦略課事業）

協会が管理運営する６施設において、乳幼児とその保護者が気軽に参加できる演奏会を、地元アーティスト等による生演奏により開催した。各施設の文化・教育機関としての価値を高め、利用促進の機会とした。

開催期日　　平成２９年７月２０日（木）

内　　容　　「橘太鼓響座」による演奏

参加者数　　子ども２２１人、大人２１９人　　延べ　４４０人